

中で、一日平均31.4人も利用している。このことは役場を訪れる方の中には、不安な方もいるということ、十分説明していると思う。発議者は、利用者の心情を考慮せず、修正の提案か。

答 市川議員

利用者の声ではなく、地域の方から「案内人は必要なのか」の声を聞いている。町は、来庁者以外の声も汲み取り判断すべきだった。

問 井上(敏)議員

来庁者以外の声や、案内板があるから必要ないとのことだが、簡単に各課に行ける人、行けない人、人それぞれである。利用者の心情を聞いた上での判断か。

答 市川議員

利用者の心情は確認していない。ただ、サインなどで2階まで行けば、職員が声掛けしてくれるはずなので、目的地まで到達でき

るもの思いである。

問 井上(敏)議員

不慣れな来庁者に配慮するために案内人がいる。弱者に聞き取りもしていないとは、配慮がないといえる。

答 市川議員

弱者に対し配慮がないとのことだが、案内人は尋ねる方に、2階に上がって右に左にと説明するだけだ。2階に上がれば、後は職員が対応する。

原案賛成討論

森議員

原案は総合案内所を委託業務から事務補助員に変更することから、町としてもより安価で、雇用される方々も勤務条件の中に社会保険などにより、身分も保証されることとなる。

修正動議は、平成29年9月議会で修正動議が提

出され否決されたものと関連があり関心を持って見守った。正門から来るお客さんは高齢者が多く、総合案内所に直行しJAやすこやかセンター利用や用件すら分かりにくいことまで相談していた。役場全体も明るくなっていることから、この修正動議は総合案内所不要論であり反対する。

原案賛成討論

井上(正)議員

本庁舎に様々な要件で住民が訪れているが、閑散とした1階フロアで、立ちすくみ困っている光景を幾度か見ることがあった。

3月に入り、私自身、来庁者から行き先を尋ねられたことも多々あった。これらの経験から、現在の状況では総合案内の必要性を感じている。また、1階フロアには、町内の観光地や名所を訪ねて来る人も多い

と、総合案内の職員からも聞いている。

庁舎に来た人に対し、安心感を与えスムーズに処理のできる体制を整えることは、住民サービスの原点とも思われる。

現在実施している総合案内は現時点では必要と考える。

修正案賛成討論

筒井(一)議員

新庁舎の業務が開始されて約3年が経過した。町民には2階・3階において業務が行われていることは一定承知されており、目的のフロアに到着すると、職員が案内をするので現在はスムーズな状態で業務が遂行されていると感じている。

また、町民の多くからも総合案内の必要はないとの意見を聞く。平成29年の当初予算250万円で来庁者に対して分かりやすい本庁サイン設置工事が平成29年度中に完了する

と聞いている。さらに案内を必要とするならば、西、東双方のエレベーターや階段への誘導サインを引き、各階からは各課への誘導サインを引くことで安価でスムーズに誘導できるのではないかと考える。

原案賛成討論

井上(敏)議員

十分な検証結果や必要性の説明は、いまだに31.4人も利用しているとの説明で十分だ。また、形を変えての予算計上というが、現在委託している業者見積もりと、町予算とでは折り合えず、臨時職員で対応するということが、なんら形を変えてはならない。

利用者の様々な意見を聞く中では、案内人に、にこやかに迎えてもらい、優しく対応してくれること。帰りのバスの時間を尋ねる方。どこそこに行くのにはどう行きま